ギターの記譜の知識



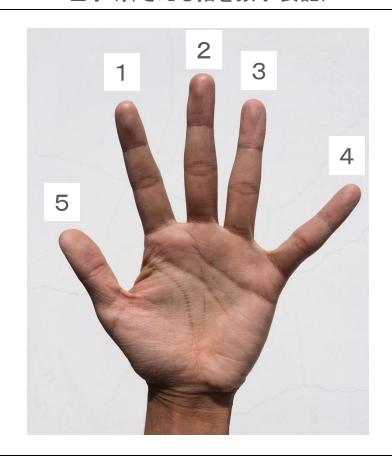
弦とフレット



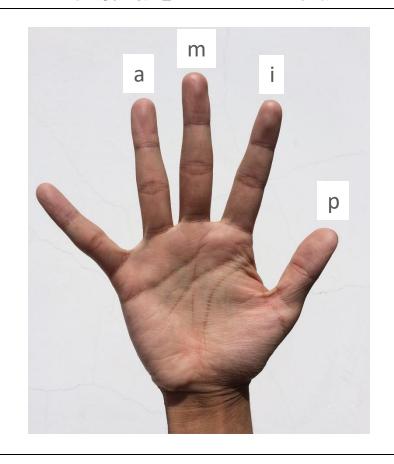


指番号について

左手(押さえる指を数字表記)



右手(弾く指をアルファベット表記)



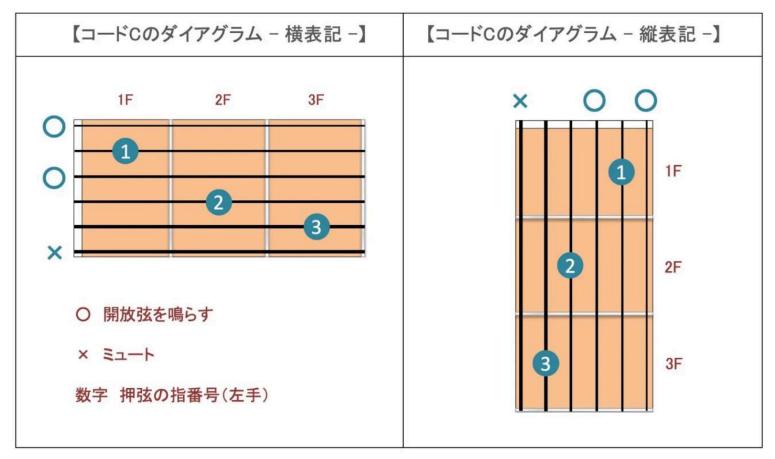


ピッキングの向き



コードダイアグラム

コードの押さえ方を図にしたのが「ダイアグラム」 日本では横型表記、海外では縦型表記が一般的

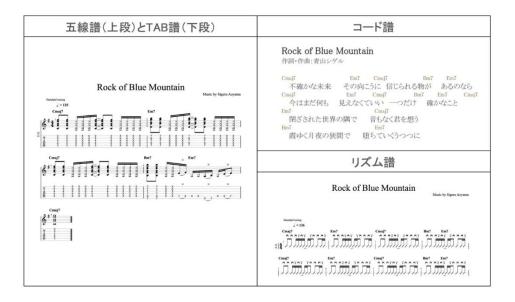




4種のギター譜

ギターで用いる記譜は主に以下の4種。

- 五線譜
- TAB譜
- コード譜
- ■リズム譜



クラシックは五線譜、ポピュラー音楽では他の記譜法が使われる事が多い。ギターの場合は同じ音が複数の弦上に存在するので「どの弦のどの場所を押さえるか?」を正確に表すにはTAB譜が適している。

弾き語り用にはコードストロークにはそれで十分な為、コード譜やリズム譜が使われることも多く、アルペジオや単音弾きが出る箇所だけ五線譜やTAB譜が混在することもある。



五線譜

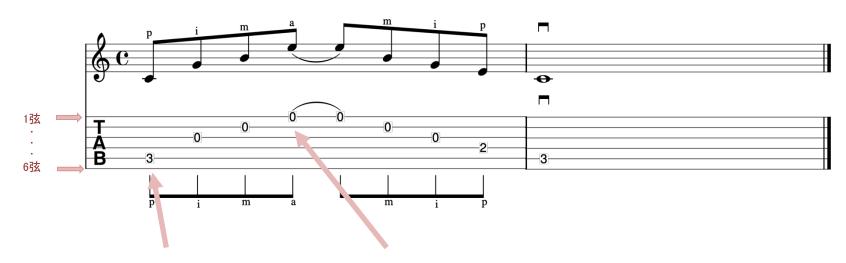
Minuet in G





TAB譜

6線あり、そのまま弾く弦とフレットの位置を表している。上段が五線譜、下段がTAB譜面の2段譜になっている事が多い。その場合TAB側にはリズムの旗が書かれていない事もある。



数字は押さえるフレットの番号 この場合は5弦3fを押さえる 「0」の場合は開放弦を弾く この場合は1弦の開放弦を弾く



コード譜

歌もの楽曲の歌詞の上にコードネームだけ書かれているスタイル。 1曲1ページで収まるので歌をよく知っている人には演奏しやすいが、小節が書かれていないのでコードチェンジのタイミングが分かりにくい、どう言うリズムで弾けばいいか分からないと言うデメリットがある。

Rock of Blue Mountain

作詞・作曲:青山シゲル

Cmaj7 Em7 Cmaj7 Bm7 Em7

不確かな未来 その向こうに 信じられる物が あるのなら

Cmaj7 Em7 Cmaj7 Bm7 Em7 Cmaj7

今はまだ何も 見えなくていい 一つだけ 確かなこと

Em7 Cmaj7

閉ざされた世界の隅で 音もなく君を想う

Bm7 Em7

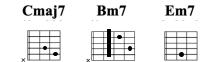
霞ゆく月夜の狭間で 堕ちていくうつつに

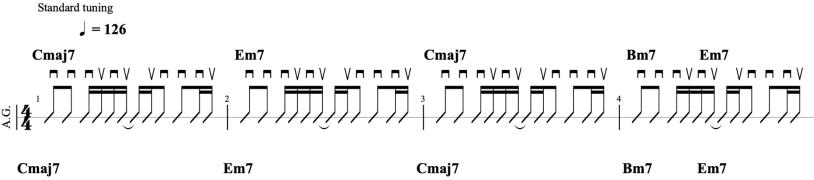


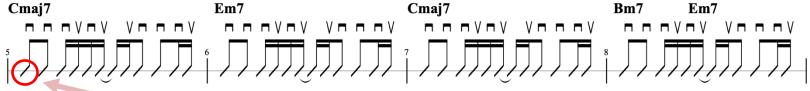
リズム譜

Rock of Blue Mountain

Music by Sigeru Aoyama









音符の符頭の部分は斜めに書く

